



© The contents of this document or evidence which are continuously being processed by the legal staff of the firm and subject to modification from the date when this being.

株式会社クリーク・アンド・リバー社

▶▶ To Our Shareholders

株主の皆さまへ



平素よりC&Rグループ事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長 井川 幸広

昨年の米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な景気後退により、多くの企業において、厳しい環境が続いています。一方、C&Rグループにおいては、かねてより、経済環境の変化においても堅調なニーズのある、プロフェッショナルを対象としたエージェンシー事業を展開してきたことから、比較的安定した成長を続けており、この経済環境は、新たなステージへと踏み出すチャンスと捉えています。

C&Rグループは創業来、節目の年に大きな経済危機に直面してきました。グループの中核であるクリーク・アンド・リバー社が誕生したのはバブル経済崩壊のさなかでした。上場を果たした2000年には、ITバブルの崩壊が起き、新興企業全体に対するイメージの悪化と淘汰が生じました。C&Rグループはそれらを乗り越え、皆さまのご支援のもと、創業20年目を迎えることができました。

今般の世界的金融不況は、のちに振り返るとC&Rグループの大きな節目となるかも知れません。このような時期だからこそ、先を見据

えた新たな取り組みが必要だとの思いから、当期は様々な施策を展開しています。

まず1つ目は、2009年6月に、会計分野のエージェンシー事業を手がけるジャズネットコミュニケーションズ株式会社が新たにグループに加わりました。C&Rグループでは、クリエイティブ、医療、IT、法曹の4分野でビジネス・ポートフォリオを構成していましたが、新たに同社が加わったことで、より経済環境に左右されにくい構成となりました。この5分野以外にも、プロフェッショナルが活躍している分野は多数存在し、プロフェッショナルを対象としたエージェンシー事業の成長余地は高いと考えています。今後も更に対象分野を拡大し、変化する環境に柔軟に対応することで、グループ全体での成長を目指してまいります。

2つ目は、グループの中核であるクリエイティブ分野において成長する中国市場を見据え、中国へ販路拡大等を考えている企業を対象とし、EC等を活用したビジネス支援サービスを開始しました。2009年7月には、中国の検索エンジン最大手であるBaidu, Inc.の日本法人バイドゥ株式会社と事業提携を行ない、同社のノウハウを活かしたクリエイティブ制作やプロモーション展開等を通じ、企業の売上向上に直結する総合的なサービス体制作りを急いでいます。中国市場に向けサービスや商品の提供を手がけている企業は多数ありますが、約49,000名のクリエイターと約1,000社のパートナープロダクションからなるクリエイティブ・ネットワークを有する会社は他になく、当社ならではのサービスを確立してまいります。また、中国現地法人の設立も準備しており、日本・中国・韓国と、これまでに類を見ないクリエイティブ・ネットワークは着実に拡大し、そのビジネスの新境地を切り開いてまいります。

厳しい時代には、企業の統合力が問われます。

C&Rグループは、創業来蓄積してきた知力を結集し、永続的な成長に向け、弛まぬチャレンジを続けてまいります。

株主、投資家の皆さまにおかれましては、ぜひC&Rグループの取り組みについてご理解いただき、変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

Business Review / Financial Highlights

事業概況 / 財務ハイライト

当中間期における経済環境は、一部の経済指標では改善の兆しが見え始めているものの、雇用情勢の悪化や設備投資の抑制傾向等不安材料も多く、依然先行き不透明な状況が続いています。

C&Rグループは、クリエイティブ、医療、IT、法曹、会計等、専門分野毎にエージェンシー事業を展開し、ビジネス・ポートフォリオを構成しています。様々な特性を有した企業でグループを構成することにより、経済環境等に左右されにくい企業集団を目指しています。

当中間期においては、医療分野は景気動向に関わらず、医師へのニーズは高水準が続き、業績は好調に推移いたしました。一方、クリエイティブ分野、IT分野においては、景気悪化の影響が顕在化しましたが、グループ全体での業績は、概ね期初に発表した計画通りに推移いたしました。

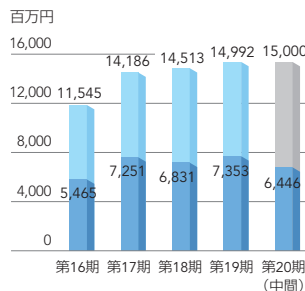
これらの結果、C&Rグループの当中間期の業績は、売上高6,446百万円、営業利益215百万円、経常利益220百万円、四半期純利益71百万円となりました。

当中間期〈計画〉と〈実績〉

	計画	実績
売上高	7,000 百万円	6,446 百万円
営業利益	220 百万円	215 百万円
経常利益	200 百万円	220 百万円
四半期純利益	100 百万円	71 百万円

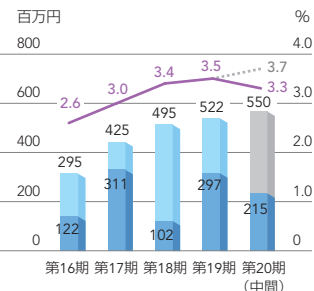
売上高

■ 通期 ■ 中間 ■ 通期予想



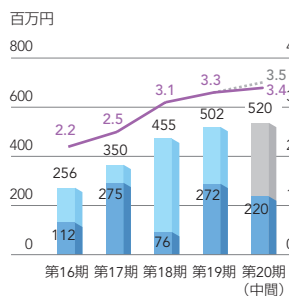
営業利益 / 売上高営業利益率

■ 通期 ■ 中間 ■ 通期予想



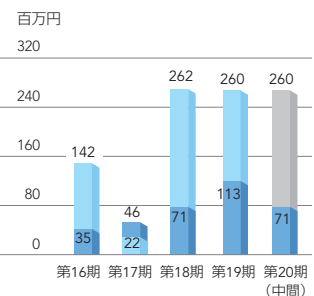
経常利益 / 売上高経常利益率

■ 通期 ■ 中間 ■ 通期予想



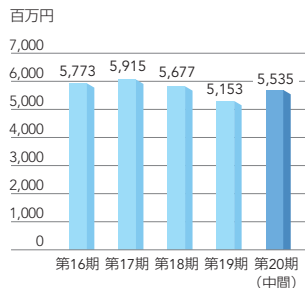
当期純利益

■ 通期 ■ 中間 ■ 通期予想



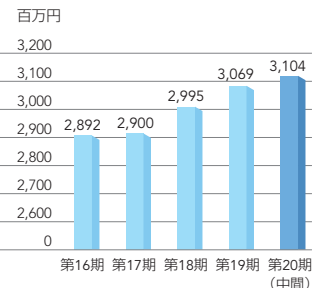
総資産

■ 通期 ■ 中間



自己資本

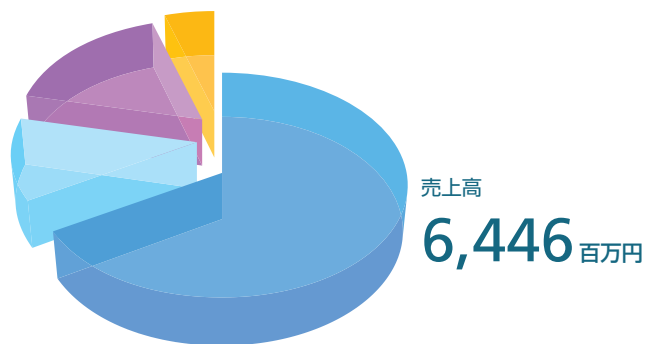
■ 通期 ■ 中間



※売上高営業利益率及び売上高経常利益率の実績数値は、当中間期を除き、すべて通期の数値です。

Our Group Company

分野別概況



- クリエイティブ分野(日本) **4,300** 百万円
- クリエイティブ分野(韓国) **760** 百万円
- 医療分野 **1,075** 百万円
- IT・法曹・会計他 **311** 百万円



TV・ゲーム等のエンタテインメント関連では、制作の内制化に伴う人材ニーズの増加に的確に対応し、業績は堅調に推移しました。一方、一般事業法人向けサービスにおいては、景気低迷に伴う求人市場の縮小により、求人広告関連アウトソーシングサービスの受託が大幅に減少し、当分野全体では業績が前年同期を下回る結果となりました。一方、ECマーケットが飛躍的に拡大していることを踏まえ、専門部署を組成し、中国へ進出する企業に向け、EC等を活用したビジネス支援サービスの開始等、新たなサービス開発を積極的に推進しています。

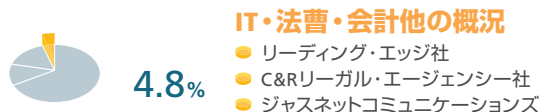


同分野では、約70のチャンネルへ約900名のスタッフ派遣を通じたTV局との取引に加え、WebやCG分野等、より多様なニーズへの対応を強化しています。更に、53名のトップクリエイターの専属マネジメントを行ない、作品の映像・書籍化、プロデュース企画等を通じて、ライツ・マネジメントにも積極的に取り組んでいます。



全国的かつ慢性的な医師不足・偏在の状況が続く医療業界においては、医師へのニーズは引き続き高水準で推移しています。大学医局・医師・医療機関を繋ぐ的確なサービスに対する認知度向上に伴い、2009年6月末日現在、登録医師数が約31,200名、登録医療機関は約7,800となり、成約件数も順調に伸長しています。

また、医師の求人情報を掲載するWebサイト「MediGate」等、医師・医療機関双方に向けたサービスの多様化と充実にも努めています。



IT分野では、市場のニーズが高いIEC関連のシステム構築に注力し、同分野を推進している当社とのシナジー向上を目指しています。法曹分野では、法曹・法律事務所・企業法務部とのネットワーク拡大が進展し、通期黒字化が視野に入っておりまいりました。当期より新たにグループに加わった会計分野では、昨年来の世界同時不況に伴い、人材ニーズは減少傾向にありましたが、公認会計士・税理士等の有資格者に対するニーズは比較的堅調に推移しています。今後有資格者の一層の登録強化により、会計士・税理士及び会計事務所や企業とのネットワーク拡大を進め、収益力向上に努めてまいります。



中国ビジネス支援サービス開始 ～バイドゥ株式会社との事業提携～

中国のインターネットユーザーは2008年12月に2億9,800万人を越え、米国を抜き世界第1位となり、更に、中国のオンラインショッピング市場は、2008年の1兆8,000億円から2011年には8兆7,000億円と、3年間で約5倍の成長が予測されています。当社は、巨大な市場を有する中国に向けてビジネス展開を考えている日本企業を対象としたビジネス支援サービスを開始し、「中国向けECサイトの企画・構築・プロモーション/中国ECモールへの出店サポート」「日本への中国人観光客をターゲットとした、商店やレストラン、旅館等を対象としたビジネス支援」の2つのサービス提供を開始しました。

検索エンジン「Baidu.com(百度)」は、世界の検索エンジン・シェアが第3位で、特に中国マーケットにおいては約70%という圧倒的シェアを誇ります。中国における豊富なノウハウを有する同社のサポートを得ることで、プロモーションを効率的かつ効果的に行なうことが可能となります。

少子化により市場縮小が確実な日本においては、高い成長が見込まれる中国市場への事業展開は避けて通ることのできない検討課題です。当社は、単なるECサイトの構築だけでなく、日本の人口の倍を超える中国のインターネットユーザーが、確実にクライアントのWebサイトを訪問し、サービスや商品の購入へと至る、「売上に直結したサービス」を提供することで、クライアントの価値創造に貢献してまいります。



グループで5番目となる エージェンシー事業(会計分野)へ進出

C&Rグループは、中核事業である「プロフェッショナル分野に特化したエージェンシー事業」の拡大を目指し、2009年6月に、ジャズネットコミュニケーションズ株式会社を新たにグループに迎え入れました。同社は、公認会計士である創業者が1996年に設立し、会計のプロフェッショナルを対象とした人材事業を展開してきました。同社のネットワークは、公認会計士・税理士等の専門人材約14,500名からなり、会計分野において高い知名度を有しています。また、経理実務に直結した教育プログラムの提供等、教育事業にも力を入れており、人材面に留まらない幅広いサービス提供を特色としています。

今後、C&Rグループと当社が培ってきたノウハウを融合することで、企業経理部門のアウトソーシング等、多様なサービス提供が可能となり、より一層の事業規模・収益の拡大を促進してまいります。

更に、法曹分野のエージェンシー事業を展開する連結子会社株式会社C&Rリーガル・エージェンシー社との連携を通じ、企業活動の核となる法務・会計分野にわたるプロフェッショナル・ネットワークを軸に、ビジネスモデルの高度化を目指してまいります。



ジャズネットコミュニケーションズ株式会社のWebサイト

Stock Information

株式の情報(2009年8月31日現在)

大株主(10名)

	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社シー・アンド・アール	66,280	30.79
井川 幸広	46,530	21.61
福田 浩幸	7,540	3.50
澤田 秀雄	3,650	1.70
星川 輝	2,948	1.37
依田 巽	2,890	1.34
鈴木 慶子	2,829	1.31
添田 和宏	2,040	0.95
大阪証券金融株式会社	1,962	0.91
クリーク・アンド・リバー社従業員持株会	1,917	0.89

(注)1.上記の他、自己株式が10,809株あります。

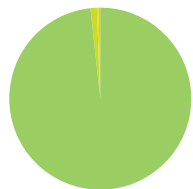
2.持株比率は自己株式(10,809株)を控除して計算しております。

株式の状況

発行可能株式総数	447,200株
発行済株式の総数	226,090株
株主数	3,897名

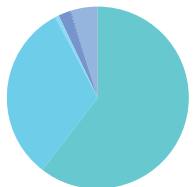
株式・株主分布

所有者別状況



個人・その他	3,829名	98.26%
その他国内法人	44名	1.13%
金融商品取引業者	12名	0.31%
金融機関	5名	0.12%
外国人	6名	0.16%
自己名義株式	1名	0.02%

所有株式数別状況



個人・その他	136,618株	60.43%
その他国内法人	71,904株	31.81%
金融商品取引業者	1,538株	0.68%
金融機関	4,858株	2.14%
外国人	363株	0.16%
自己名義株式	10,809株	4.78%

株主メモ

事業年度	3月1日～翌年2月末日まで
定時株主総会	5月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 2月末日
公告方法	電子公告の方法により行ないます。 公告掲載URL(http://www.cri.co.jp/) ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063東京都杉並区泉和二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行事務センター (電話照会先) ☎ 0120-78-2031(フリーダイヤル)
取次事務	中央三井信託銀行株式会社の全国各支店 ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店 で行なっております。
上場金融商品取引所	大阪証券取引所(ヘラクレス)
証券コード	4763

ホームページのご案内

最新IR情報をWebで閲覧いただけます

「コーポレートサイト」
<http://www.cri.co.jp/>

Click!



IRニュース配信にご登録ください

C&R社のIR関連の最新情報をメールでお届けするサービスです。プレスリリースやインフォメーション、サイト更新情報等をご案内いたします。コーポレートサイトより、ぜひご登録ください。